

目次 Contents

さあ始めましょう ～手引の使い方～	5
前書き	10
テサロニケ人への手紙 第一 はじめに	12
1課 背景と概要 (使徒の働き 17:1-10、Iテサロニケ1-5章)	13
2課 模範になろう (1章)	16
3課 人ではなく、神からの賞賛を求めよう (2:1-16)	19
4課 大きな喜びを期待しよう (2:17-3:13)	23
5課 神に喜ばれる歩みをしよう (4章)	27
6課 備えていよう (5章)	31
テサロニケ人への手紙 第二 はじめに	36
7課 神の義を信じよう (1章)	37
8課 パニックに陥らないように (2章)	41
9課 怠けないように (3章)	45
ヨハネの手紙 第二、第三 はじめに	50
10課 真理と愛のうちを歩もう	51
ユダの手紙 はじめに	56
11課 信仰のために戦おう (1-16節)	57
12課 自分自身を築き上げよう (17-25節・学びのまとめ)	61
地図	66

2課

模範になろう

I テサロニケ 1章

人は知らず知らずのうちに、周囲にいる人の行動にならっていくものです。子供は、親のことばや口調、しぐさなどの真似をします。青年たちは、良きにつけ悪しきにつけ、仲間に自分を合わせてしまいます。悪い習慣から抜け出したい人は、良い模範となる人の助けが必要でしょう。

テサロニケの教会は、生まれて間もない教会でしたが、この教会が主とパウロにならうものとなり、また、彼ら自身も諸教会の模範になっていました。テサロニケのクリスチャンが、あなたにとって、また今日の教会にどのような模範となっているのかを見ていきましょう。

*あなたが模範としている人を思い浮かべてみましょう。その人のどのようなところを見なっていますか。なぜですか。

I テサロニケ 1:1-10

- 1 パウロ、シラス、そしてテモテは、テサロニケのクリスチャンのために祈る時、彼らのどのようなことを思い起こしていますか(2-3節)。
- 2 「信仰の働き」、「愛の労苦」、「望みの忍耐」[信仰によって働き、愛のために労苦し、希望を持って忍耐している]というパウロのことばから、テサロニケ教会の置かれている状況はどのようなものだと想像できますか(6節、2章14節参照)。
- 3 信仰の友の様子を知ること、その人に対するあなたの祈りや関わりかたはどのように変わりますか。

- 4 パウロはなぜ、テサロニケのクリスチャンが神に選ばれた者であると確信しているのですか(4-6節)。
- 5 あなたが信仰を持った時、どのような聖霊の導きと助けがありましたか。
- 6 a. 人が福音を受け入れようとする時、苦難が伴うことがあります(使徒17章4-10節)。にもかかわらず、福音を受け入れ喜びが生じるのはなぜですか(6節)。
 - b. あなたの知り合いに、そのような体験をした人がいますか。
- 7 テサロニケのクリスチャンはどのような点でパウロと主とになっていますか(6-7節)。
- 8 a. テサロニケのクリスチャンによって、広く伝わった2つのことは何ですか(6-8節)。
 - b. 信仰者として模範的な生き方をしている人と出会ったことがありますか。そのような出会いは、あなたの信仰生活にどのような影響を与えましたか。
- 9 パウロたちはどのような点でテサロニケのクリスチャンを喜ばしく思っていますか(8-10節)。
- 10 テサロニケのクリスチャンが信仰を持つ以前の姿、パウロたちに出会って信仰を持った今の姿、約束されている将来の姿はどのようなものでしょうか(9-10節)。

❖ まとめましょう ❖

- 1 テサロニケのクリスチャンについて、あなたが教えられ、励まされたことは何ですか。
- 2 あなたの教会は、彼らのどのような点にならうことができると思いますか。
- 3 あなたが親しくしている人々のことを思い浮かべてください。その人たちは、あなたの生き方や言動のどのような点に影響を受けていると思いますか。

・ 祈 り ・

神様、テサロニケのクリスチャンの喜びと信仰と忍耐は、
あなたに従う生き方の模範です。
私も、誰かの模範になっていることを
自覚していただけますように。
あなたに喜ばれる生き方をして、
私のことばと行い、価値観、そして信仰が、
よき模範となるように助けてください。
御子を待ち望む者として、生けるまことの神であるあなたに
仕えていけるように、私を強めてください。

イエス・キリストの御名によって祈ります。
アーメン。